



清 風

南 砺 市 立 上 平 小 学 校
学 校 だ よ り
令 和 5 年 1 月
上平小学校ホームページ
http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp

上平小学校の伝統①

校長 中町 寿子

3学期がスタートしました。始業式では、上平小学校の伝統について話をしました。上平小学校は、平成26年度に開校し、3年目の冬、当時の子供たちと教職員がこの「伝統」を考えました。それは、自分たちのよさを子供たち自身が自覚し、大切に受け継いでいってほしいという思いからでした。「伝統」としてつないでいこうという思いがもっと素敵な学校をつくっていくと考えたのです。そこで、校歌の歌詞のフレーズにも合わせて図のように決めました。そこには、子供たちの「伝統」に対する強い思いがありました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症が、「伝統」にストップをかけてしまった時期もありましたが、今、いろいろなことに挑戦できる世の中に再び変わろうとしています。そして、この地域の子供たちだからこそ根付いているよさが、高学年の子供たちを中心にしっかり受け継がれていることに気付かされる1年でした。この「伝統」は、子供たちのよさそのものです。子供たちと共に、「伝統」を引き継いでいく予定です。



《ほのぼの上平っ子6》

力を合わせて気働き
冬季休業中に、教職員で大掃除をしました。たくさんの廃棄物が出たので、近くの空き教室にとりあえず入れておきました。それを聞いた5年生の子供たち。さっそく進んで片付けを始めました。硬いボール紙や、針金が固定されているものもあり、高学年とはいえ、力と根気のいる作業となりました。それでも、休み時間も隙間時間も使って、徹底的に片付けた子供たちの顔はとても輝いていて、素敵でした。翌日、大量のゴミ袋は、職員がごみの収集に間に合うよう何度も往復して運び出し、すっきりきれいになりました。



すっきりきれいになった教室

昔から伝わる遊びに親しむ ～粘り強く取り組む～



低学年主任 今村 優一

低学年の生活科では、「むかしからつたわるあそびにしたしもう」の学習を行っています。その中で「けん玉」に取り組むBさんの話を紹介します。最初、生活科でけん玉に取り組むことを伝えると、Bさんは「やったことがあるけど、失敗することが嫌だし、なかなか上手くいかないから途中でやめた。」と言いました。しかし、高学年の児童がけん玉をやっている様子の動画を見て、「僕もやってみたい。僕も動画の技をやってみたい。」という気持ちが高まりました。しかし、実際にけん玉を練習し始めると、Bさんの予想通りすぐには成功しません。何度練習しても、皿に乗せることができなくて、Bさんはくじけそうになりました。しかし、「何回も練習すれば絶対できるようになるよ。」と励ます児童や、「玉を皿に乗せる瞬間に膝を曲げたり、持ち方を工夫したりすればできるよ。」と具体的なアドバイスをする児童の声掛けで、Bさんは練習に取り組み続けました。休憩時間にも練習し、一週間が経った頃、とうとうBさんは玉を皿に乗せることができました。そのときには「皿に乗せることができたよ！もう一度やってみるね」と笑顔で友達や周りの人にやって見せていました。Bさんのように、昔から伝わる遊びに親しむ活動を通して、どの児童も粘り強く取り組む大切さやみんなで協力して取り組む大切さを学ぶことができました。この経験を様々な学習や活動につなげていきたいと思います。